

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
ボランティア実習 Volunteer Practice		情報メディア学科	1年次 2年次	1年次後期 2年次前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
実習	2		手島 史子・寺本 公思・村上 芳明	
概要				
<p>1年後期と2年前期の授業である。 この「ボランティア実習」の授業は、「介護等体験の実習の研究」ということである。 この授業では、「教師」という職業の「資質能力」について言及しながら具体的な内容に迫っていく。また、少なくとも、子どもたちとかがかわるとき、子ども達に責任が持てる「人間性」ということを考える。</p>				
到達目標				
<p>(1) 教師の資質能力について他の意見を聞き、自分の考えを述べることができる。 (2) 教師の資質能力を意識した子どもとの関わりのあり方について専門的に考えることができる。 (3) 「介護等体験実習」の目的を考慮し、自分の課題を導き出し、充実した実習ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
【1年次後期】 1 オリエンテーション 手島・寺本・村上 2 介護等体験の法律から教員の資質能力を考える 手島 3 教師の資質能力について（問題提起） 手島 4 「教育への疑問」について、議論する 手島・寺本・村上 5 教師の「資質能力」について① －不祥事の事例から－ 寺本 6 教師の「資質能力」について② －給食指導から－ 村上 7 教師の「資質能力」について③ 村上 8 特別支援学校での学びについて 寺本 9 社会福祉施設について 手島 10 手話のいろはと演習 村上 11 客観的に物事を考え教員免許を取得するという事 手島 12 介護等体験実習に出るまでの実際 手島 13 実習を経験した先輩からのアドバイス 手島 14 実習希望調査・プロフィールの作成 手島・村上・寺本 15 介護等体験の実習の心構え（まとめ） 手島・村上・寺本		【2年次前期】 1 オリエンテーション 手島・寺本・村上 2 特別支援学校の実習希望者プロフィール等の記入及び実習日程の確認と留意事項 手島 3 車椅子の実技①（基本） 村上 4 車椅子の実技②（応用） 村上 5 実習を充実させるための「いろは」 手島 6 実習日誌の書き方 －意味と目標－ 手島 7 実習日誌の書き方 －内容－ 手島 8 障害者・高齢者と介助・介護を通じてかかわること 寺本・村上 9 「普通」「常識」から自立を考える 寺本 10 自立を視野に入れた障害者・高齢者とのかかわり 寺本 11 自立について考える（発表1） 村上 12 自立について考える（発表2） 村上 13 教員免許を持って現代社会を生きるということ 手島 14 自立について考える 寺本 15 教師の資質能力について 村上		
テキストおよび 参考文献	授業時に指示			
メッセージ な	<p>教育や教師という言葉の持つ意味を少しでも深めることができるように日頃から抽象的な言葉の持つ意味を自分なりに考えていって欲しい。 中学校教諭二種免許状：必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 教師の資質能力について他の意見を聞き、自分の考えを述べることができる。	教育の現状や教員の資質を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	教師の資質能力や教育の課題への認識の誤りや大きな論理的な問題もなく、自分の意見や考えを述べている。	教育の課題や教師の資質能力に対しての認識は浅いが、最低限の自分の考えを述べている。	十分に考察や議論をせず、自分の考えを述べていない。	授業中の発表および課題レポート (知識・理解)	30%
(2) 教師の資質能力を意識した子どもとの関わりのあり方について専門的に考えることができる。	教師の資質能力を意識した子どもとの関わり方について、専門的な視点を含みつつ述べるができる。	子どもとの関わり方について、大きな論理的な問題もなく、自分お意見を述べるができる。	資料や他者の意見を参考にしつつ、子どもとの関わり方について述べるができる。	自分の考えを述べるができない。		20%
(3) 「介護等体験実習」の目的を考慮し、自分の課題を導き出し、充実した実習ができる。	自分で導き出した課題に向きあい、充実した実習ができる。	利用者や児童・生徒とのかかわり合いで振り返りを行い、特に問題なく、実習ができる。	利用者や児童・生徒とのかかわり合いが十分ではないが、実習を自分なりにできることができる。	不適切な実習態度がみられ、未提出のものがある。	課題レポートおよび日誌および実習(関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	50%